



林野庁図書館ニュース



発行：林野庁図書館

TEL：03-3501-0964

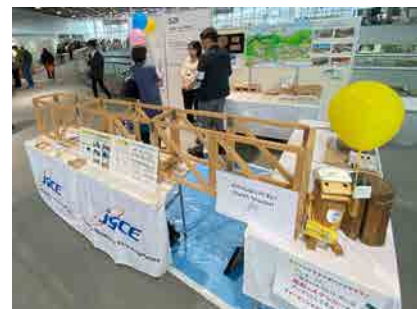
森林・林業・木材産業のマンガ・イラスト活用事例のご紹介

林野庁図書館では、林野庁職員 平田美紗子の描くイラストを活用し、国民のみなさまへの森林・林業・木材産業の普及・啓発に努めています。その一環として、イラストの利用を希望する教育機関や団体、個人の方等へ原画データの提供を行っております。2023年度も、さまざまな場面で活用していただいたその一部をご紹介します。

林木育種センターでは、事業や日頃の研究成果の紹介、森林の大切さや木材利用に対する理解を深め、森のめぐみとのふれあいをとおして地域の方々との交流を図るための一般公開「親木の集い」にて『お山ん画』のパネルを展示していただきました。



土木学会木材工学委員会では、「サイエンスアゴラ2023」へ出展の際、活動内容を説明するための資料として『人to木』のイラストを活用していただきました。「きれいでもわかりやすくまとまっており、説明もしやすくブースも華やかになった」と嬉しいお声をいただきました。



「第75回全国植樹祭」の関連事業として埼玉県にて「こども森づくりフォーラム」を開催し、自然保育・森林環境教育の推進等を行う一環で『森林業循環活用図』等をパネル展示により活用していただきました。



有限会社 一場木工所(広島県)では、協賛する三良坂平和美術館「木のおもちゃでできること」展の期間中、会場の「木の博士になろう」ブースに『人to木』を展示していただきました。



「WOODコレクション」等、林野庁出展の各種イベントでも、『森林業循環活用図』『人to木』等を積極的に展示活用して、森林・林業の普及・啓発に努めました。

森林・林業まんが・イラストをぜひご活用ください！

こどもたちに森や林業のことを伝える教材として。
さまざまなイベントでの展示やパンフレットとして。
オフィスで、お店で、木材利用をお考えのみなさまへ。

森林や林業に興味を持っていただくきっかけづくりのひとつとして
どなたも自由にご利用いただけるコンテンツをご用意しております。

ぜひ、森林・林業のまんがやイラストをご活用ください。
データを希望される方は林野庁図書館までお気軽にお問い合わせください。林野庁図書館の林業漫画・イラストは[こちら](#)



森林業循環活用図(作：林野庁職員 平田美紗子)

「消費者の部屋」展示・ワークショップ開催報告！

令和6年1月の「消費者の部屋」展示期間中、「森のリーフアート うけさん」こと佐野由輝氏(森林整備センター職員)を講師にお迎えし、リーフアートのワークショップを開催しました。多くの方に参加いただき、みなさんサンゴジュの葉の香りや手触りを楽しみながら、熱心にカッターを手に作品を仕上げている様子が見られました。できあがったリーフアートは和紙を台紙にしおりにしてお持ち帰りいただきました。葉っぱとデザインカッターがあればどなたでも気軽に楽しむことのできるリーフアート。お気に入りの葉っぱを見つけて挑戦してみませんか。

※葉っぱを採取する際は、採取可能な場所かどうかご確認を忘れずに！
カッターの取扱いにもご注意ください。



チラシ：平田美紗子

新着図書・注目図書のご案内

林野図書資料館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から森林環境教育等にご活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書を備え、皆様のご利用をお待ちしております。新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

雑説 技術者の脱炭素社会【改訂増補版】



来たるべき脱炭素社会 ゼロカーボンの実現性について考える。本書の著者は、企業・大学で40年近くエネルギー問題に関わり続け、その過渡期を見つめてきた。時代によって変わりゆく分野の状況に困惑しつつも、その経験を踏まえ、今や世界の目標となっている脱炭素社会について語る。現代文の解説を加え、よりわかりやすくエネルギーと文明の未来を考える一冊。

著者：村上 信明
出版社：梓書院(2023年11月)

環境価値取引の法務と実務



非化石価値、ゼロエミ価値(CO2ゼロエミッション価値)、環境表示価値――

GX推進法をはじめとする温対法、高度化法、省エネ法などの関連法令や、RE100などの活用方法を体系的に解説。

著者：森・濱田松本法律事務所／木山二郎、長窪芳史、山路諒、木村純、鮫島裕貴、塩見典大、山崎友莉子、前山和輝、日高稔基
出版社：エネルギーフォーラム(2023年11月)

気候変動を学ぼう ―変化の担い手になるために―



今、世界・日本の気候変動はどうなっている？真に有効な気候変動対策や政策・仕組みとは？社会全体で取り組むべき具体的な目標とは？進行する気候変動問題に対し、私たちに何ができる？

気候変動問題に根本からアプローチするために知っておくべきこと、すでに動き出している人・取り組みがまるごとわかる。

編者：クライメート・リアリティ・プロジェクト・ジャパン
著者：平田 仁子、豊田 陽介、ギャッチ・エバン、三谷 優衣子
出版社：合同出版(2023年11月)

植物が出現し、気候を変えた



植物の進化と繁栄は、かつて想像されていた以上にダイナミックに、地球の景観や気候をつくりかえていた！陸上植物の出現にはじまる“緑の地球”の5億年の変遷を描きだす。「酸素と巨大生物の『失われた世界』」「オゾン層大規模破壊はあったのか？」「地球温暖化が恐竜時代を招く」「南極に広がる繁栄の森」……こうした太古の地球がはらむミステリーに、植物の進化・適応がいかに関与していたか。壮大なシナリオには、わくわくする面白さがある。

著者：デイヴィッド・ピアリング
訳者：西田佐知子
出版社：みすず書房(2015年1月)

森を活かし 森に生きる



今日の地域づくりの政策的視点、戦後のわが国における山村の姿、これからの山林のあり方を論じる。宮林茂幸の45年間にわたる東京農業大学での教員生活を振り返るインタビューや、教え子たちの寄稿も収録。

編著：宮林 茂幸
出版社：東京農業大学出版会(2023年8月)

地域森林管理の長期持続性

欧州・日本の100年から読み解く未来



”世紀を超えた森林づくり“を誰がどうやって担うのか。持続可能な森林管理に関する研究や制度形成には、時空を超えた長期的で国際的な視点や地域多様性を踏まえた対応が重要である。国内外の先駆的な30事例を気鋭の研究者21名が読み解き、今後の進路を示す。

編著：志賀 和人、山本 伸幸、早船 真智、平野 悠一郎
出版社：日本林業調査会(2023年10月)

御料局測量課長 神足勝記日記



神足勝記氏は皇室林野局の前身である御料局の初代測量課長として、「御料林」を含む御料地と民地の境界を明らかにする測量と大縮尺地図の作成を初めて指揮した技術者。「林野地籍の礎」を固める歴史的な業績を残した。その日記などの一次資料を約20年の歳月をかけて丹念に読み解き、その足跡を明らかにした。明治期に国土を測り、現代につなげた技術者の貴重な記録。

編著：大澤 寛
出版社：日本林業調査会(2023年12月)

ツキノワグマのすべて 森と生きる。



日本の森に暮らすツキノワグマの知られざる生態に、迫力の生態写真と最新の研究が迫る。骨格・五感・形態など身体能力、何を食へ、とごて寝て、1日・1年をどのように過ごすのかといった生態を、誰も見たことかない生態写真と共に解説。足跡やフン、食痕、冬眠穴など、森の中で見つかるフィールドサインも多数収録。

著者：小池 伸介
写真：澤井 俊彦
出版社：文一総合出版(2020年4月)

